

第639回番組審議会報告
2019年6月11日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長（書面） 今井美樹委員 島田智委員
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 浜田取締役 宮田取締役
渥美制作センター長 泉田プロデューサー（MBS企画）
高山コンプライアンス室長 菅野番組審議会事務局長

◆議事の概要

ラジオ番組「上泉雄一のええなあ！」

（2019年5月22日（水）15：30～17：43放送）について意見交換した。

【番組概要】

MBSラジオタワの生ワイド。「それ、ええなあ」と言えるようなポジティブさをコンセプトに、政治経済からスポーツ・エンタメまでその日のニュースをキッカケに、個性豊かな曜日パートナーと上泉アナのしゃべりを聞かせる、おしゃべり情報バラエティ。聴取した水曜日のパートナーは奥野史子。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 上泉雄一さんはベテランで安心して聴けたし、奥野史子さんも様々な人生経験を積んでおられるので、上泉さんと対等に進行されていた。
- * 「ええなあ遺産シーズン2」のコーナーは、「そこまで深掘りするか」と感心し、聴いていて得した感もあり、面白かった。テレビとは一味違う良さを感じた。
- * 健康情報は基本的にはバラエティの中に入れず特化した番組で伝えてほしいと思うが、今回の「ええなあカラダ相談室」の先生は、お話が上手で、決めつけるところがなく、患者1人1人に処方があるのでいろいろあるというお話をされたところはよかった。

- * もうちょっと硬派なネタもあったほうがいいんじゃないかなという気がした。
- * 番組のタイムスケジュールをホームページにアップするなど「見える化」をして、何時から何があるかわかった方が聴きやすいのかなと思った。
- * 奥野さんがしゃべっているところとCM部分の音の大きさがかなり違い、ボリュームを調整しながら聴かなければならなくて不便だった。
- * ラジオ文化はあまり広いところを求めるものではないように感じている。そういう意味ではもっと尖っていったほうが聴取者もついてくるような気がする。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- * radikoができて、これから狭いターゲット向けのものがはやるのか、日本中で聴けることで広い層向けのものがはやるのかわからないが、尖ったところも意識しながらも広く受け入れられるものをどんどん試していきたい。
- * 心地よさや、寂しさを紛らわすといった部分が上泉の向いているところで、番組としてもそのテイストを残すことを心がけているが、今後のラジオとしては、狭い分野でも刺さるものが選ばれていくのだろうと感じている。聴き心地がいいというだけではないものをお届けしていかないといけないと思っている。

以上